

## 丹後水中考古学プロジェクト 9月調査報告会のお知らせ

丹後の高校生あやさんが発案した丹後水中考古学プロジェクト、9月の現地調査の日程が決まりました！8月に調査を予定していましたが、コロナ感染拡大を受け延期となり、9月19-24日の日程で水中遺跡調査を実施します。遺跡調査の様子を、ぜひ多くの方々に見ていただこうと、現地説明会と報告会を実施いたします。**水中遺跡の調査成果を見ることが出来る数少ない機会です**ので、**多くの方々の参加をお待ちしております**。当プロジェクトは、あやさんと一般社団法人うみの考古学ラボを主体とし、クラウドファンディング（高校生の挑戦：丹後の海で水中遺跡を見つけたい！）で得た資金により調査を進めています。メディア、文化財担当者、学生、お近くにお住まいの方、どなたでも参加可能です。現地での参加が難しい方のために、オンライン配信も予定しています。

クラウドファンディング <https://camp-fire.jp/projects/view/517122>



### 日時・場所

①現地説明会 9月24日(土) 10:30 開始

京丹後市 旭漁港・旭漁港

現地説明会配信用リンク (Youtube Live) [https://www.youtube.com/watch?v=I37yyXZ\\_JVE](https://www.youtube.com/watch?v=I37yyXZ_JVE)

②調査報告会 9月24日(土) 14:00 開始

京丹後市 公民館など久美浜周辺の施設で実施します（場所は後日ご連絡）

報告会用リンク (Youtube Live) <https://www.youtube.com/watch?v=wcBzXpjiRao>

天候など諸事情により、内容時間を変更する場合がございますのでご了承ください。

現地説明会・報告会は、どちらかのみ参加でも構いません。

公共交通機関でのお越しが不便な場所になります。

台風など荒天で中止の場合は、9月23日(金)正午までにお知らせいたします。

## 内容

京丹後市は、古代から近世にかけて日本海海運や大陸との交流で栄えた湊が点在する場所でありながら、歴史・考古学的に検証可能な情報・証拠は多くありません。水中遺跡の調査事例もほとんどなく、未知のフィールドと言えます。9月の調査では、海岸線の踏査、簡易的な潜水調査、音波探査などによる調査を実施し、地域にどのような水中遺跡調査のポテンシャルがあるか探ります。

### ①現地説明会

野外で実施、雨天決行。調査に使用した機材の説明、遺跡の概要の説明、また、陸から見える遺構の確認などを行ないます。多少濡れても良い恰好でご参加ください。また、希望者には船に乗っていただき遺跡を近くで見ってもらうことも予定しています。海のコンディション次第では予定を変更して実施いたします。

### ②調査報告会

室内で実施。調査に至る経緯、調査の方法、成果、今後の予定などをお話いたします。水中考古学とはどんな学問か、その調査の実践の様子をお伝えいたします。海の中から見つかる遺跡から何がわかるのか、丹後の遺跡で解明したことを詳しく解説します。

## お問合せ・お申込み

[umi559lab@gmail.com](mailto:umi559lab@gmail.com) 090-5288-2255 佐々木蘭貞

人数確認のため9月22日までにお知らせください。参加人数が多くなった場合は、人数制限をさせていただきますので、ご了承ください。

### 開催の趣旨

現在、日本国内では、水中遺跡の調査研究に対する関心が高まりつつあります。日本国内で周知された水中遺跡は、400件ほどありますが、諸外国に比べると数桁少ないのが現状です。さらに、国内に残された水中遺跡も、周知化・保護していかないと開発・自然災害・漁業活動により消滅の危機にあります。文化庁は昨年度末に『水中遺跡ハンドブック』を刊行し、それぞれの自治体を中心とした水中遺跡の保護体制の整備に向けた呼びかけを行っています。うみの考古学ラボ代表の佐々木は、文化庁の水中遺跡調査検討委員会に関り、ハンドブックの作成、また、『水中遺跡保護の在り方』の作成に携わっていました。今回の説明会を多くの方々を知ってもらい、日本各地で遺跡保護の機運が高まることを期待しています。

予定の変更・お知らせは、うみの考古学ラボの特設ページにてご確認ください。

<https://www.umilabo.or.jp/crowdfunding2022/>

主催：一般社団法人うみの考古学ラボ 丹後水中考古学プロジェクト